

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

記	者	発	表	資	料				
平	成	2	1	年	5	月	1	4	日
(財)横浜観光コンベンション・ビューロー									
経営部 担当部長 岡崎 三奈									
TEL 045-221-2111									
横浜市開港150周年事業本部 150周年記念事業推進課長 田丸 祐一									
TEL 045-671-4248									

マザーポートエリア情報

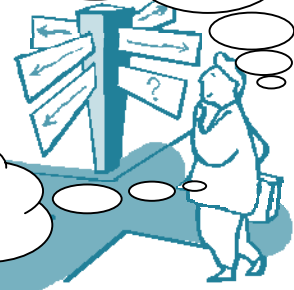
～2009/開港150周年の横浜は「おもてなし」がキーワード～
マザーポートエリアでの新たな取り組み

民間観光案内所事業

[愛称：横浜ちょこっと観光インフォメーション]
コンビニエンスストア3社
との連携、始動！



〇〇へ行きたいんだけど、ここからどうやって行くのかな？



次はどこへ行こうかな・・・？
何しようかな～

財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー(以下、「YCVB」)と横浜市では、開港150周年を契機に、これまで以上に、観光やコンベンションで横浜を訪れる方の「顧客満足」を高めるため、YCVBが平成17年2月から推進している、民間観光案内所事業を拡充しました。

横浜へのお客様増加が期待される時期に合わせ、コンビニエンスストアほか**参加事業者を増強**、**横浜らしいホスピタリティ**を発揮し、特にY150で来訪されるお客様向けの**案内情報の充実やトイレ利用の体制を強化**し、観光入込客数5,000万人を目指します。

今回の拡充ポイント



1 参加事業者の拡大

平成21年5月1日現在 87事業者 182か所 添付リスト参照
※参考：平成17年2月事業開始時 21事業者 26か所



2 コンビニエンスストア3社との連携

「マザーポートエリア」として活性化に取り組んでいる、横浜都心部(横浜駅～みなとみらい・桜木町・野毛～関内・伊勢佐木町～山下・中華街・元町)で、コンビニエンスストア3社と連携し、開国博Y150をはじめとする観光のご案内、周辺の道案内、トイレの利用でご協力いただき、お客様の快適な滞在をサポート。



[13店舗]



[15店舗]



[28店舗]



3 「横浜おもてなしプロジェクト」案内マニュアルの作成

- ・参加事業者向け研修(開国博開幕前に実施済み：3/24・30、4/24)時に活用
- ・実際の案内対応時のデータソースとして活用



4 コンビニエンスストアの協力・支援による「トイレ利用」体制の強化

お客様が増える時期に備え、特に、マザーポートエリア内「トイレ」需要対策として、コンビニエンスストア3社のご協力でのトイレ利用が可能に！

<裏面あり>

民間観光案内所

[愛称：横浜ちょこっと観光インフォメーション]

事業概要

【事業趣旨】横浜にお越しいただく方々を温かくお迎えし、一人でも多くの方に「横浜ファン」になっていただくことを目指し、平成17年2月に開始しました。お客様が“必要な時に” “必要な場所で” “簡単に” “情報が得られる” よう、観光施設・宿泊施設・商業施設をはじめとする民間事業者の方々にも、「観光案内所」の役割をお願いし、街全体の案内機能の面的な拡充を図ります。

【参加事業者数/拠点数】 87事業者/182か所
※平成21年5月1日現在、添付リスト参照

〔内訳〕	観光施設	52施設
	宿泊施設	33施設
	商業施設	64施設
	うち、コンビニエンスストア	56店舗
	交通機関	14か所
	その他	19か所

【サービス内容】 案内拠点の周辺の道案内
開催されているイベント等の情報提供
マップなどの観光資料の配布
トイレの使用

【お客様への告知方法】 観光情報サイト
「横浜情報 YOKOHAMA VISITORS' GUIDE」
<http://www.welcome.city.yokohama.jp/tourism/>
内に専用ページを開設します。
<http://www.welcome.city.yokohama.jp/tourism/tic/index.html>
※5月18日リニューアル予定

【事業担当・事務局】 (財)横浜観光コンベンション・ビューロー
経営部 滞在支援担当
TEL 045-221-2111

